

(19) 日本国特許庁(JP)

## (12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-267212

(P2004-267212A)

(43) 公開日 平成16年9月30日(2004.9.30)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>

AO1K 83/00

F 1

AO1K 83/00

テーマコード(参考)

Z 2B107

審査請求 有 請求項の数 1 書面 公開請求 (全 3 頁)

(21) 出願番号

特願2004-101259 (P2004-101259)

(22) 出願日

平成16年3月2日 (2004.3.2)

(71) 出願人 503179447

大谷 利金

東京都八王子市寺田町755-6 ニュー  
メゾン八王子104号

(72) 発明者 大谷 利金

東京都八王子市寺田町755-6 ニュー  
メゾン八王子104号

F ターム(参考) 2B107 AB17 AB22

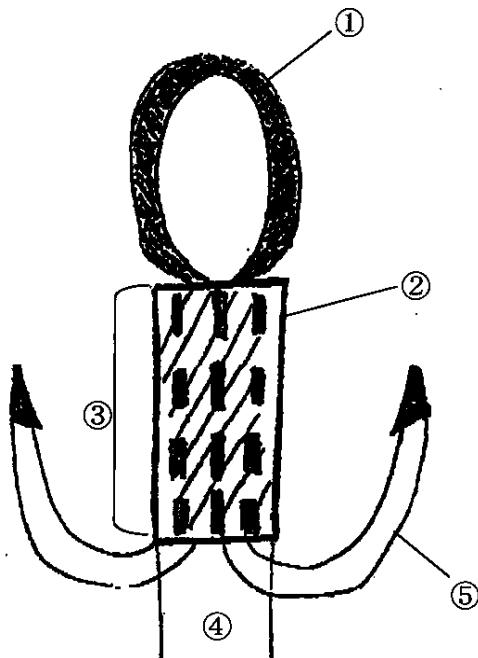
(54) 【発明の名称】 チェンジオモリフック

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 小さいルアーでも飛距離が出る事、ルアー本体の大きさによって大きさを変えていく事ができるチェンジ式オモリフックを提供する。

【解決手段】 ルアーのスイベルにタングステン合金材をつける。タングステン縦長さ、タングステン横長さを、針の大きさによって変える。

【選択図】 図1



**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

1 のルアーのスイベルに 2 のタングステン合金材をつける。3 は、縦長さ 3 mm ~ 7 mm までとする。4 は、横長さ 2 mm ~ 4 mm までとする。5 は、プランワイヤー針とする。1 の針自体は号数によって重さを変え、チェンジ式とする。6 、 7 は 3 、 4 の詳細図である。

**【発明の詳細な説明】****【発明の詳細な説明】****【0001】**

小さいルアー針本体の真ん中に 0.3 g ~ 1.2 g のタングステン合金材をつける。ル 10 アー針の大きさによってタングステン材の大きさも異なる。全てチェンジ式とする。

**【技術分野】****【0002】**

ルアー針 A01K85/00

**【背景技術】****【0003】**

ルアー本体（母体）自体が小さくて軽いと、ほとんど飛距離が出ず、ほとんど釣りになりません。

**【発明が解決しようとする課題】****【0004】**

軽いルアー（母体）に対してはほとんど飛距離が出ず、釣りになりません。リール側で調整することも可能ですが、手荒に使ったり地面に落としたりするとすぐに壊れます。

**【課題を解決するための手段】****【0005】**

1 のルアーのスイベルに、2 のタングステン合金材をつける。3 と 4 は、針の大きさによって必ず異なる事。5 はプランワイヤー針、6 、 7 は針のワイヤー太さによってタングステン合金材を変える図

**【発明を実施するための最良の形態】****【0006】**

以下、本説明の実施の形態について説明する。

1 のルアーのスイベルに 2 のタングステン合金材をつける。

5 はプランワイヤー針。

6 、 7 は 3 、 4 の詳細図で、針の太さによってタングステン合金材の縦長さと横径の太さが必ず変わる事になっています。

**【発明の効果】****【0007】**

小さいルアーでも飛距離が出る事、チェンジ式オモリフックになっている為、その都度ルアー本体の大きさによって大きさを変えていく事ができる。

**【図面の簡単な説明】****【図1】 本発明の拡大図である。**

【図2】 3 、 4 部分の詳細図である。針の大きさによってタングステンオモリを変える。

**【符号の説明】**

- 1 ルアー針、スイベル
- 2 タングステン合金材
- 3 タングステン縦長さ
- 4 タングステン横長さ
- 5 プランワイヤー針
- 6 3 、 4 の詳細図
- 7 3 、 4 の詳細図

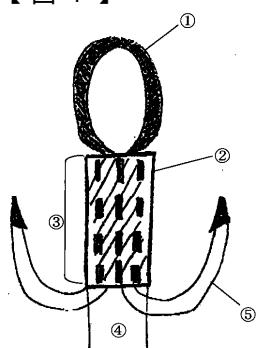
20

30

40

50

【図1】



【図2】

